

## 1 世代間交流事業開催の経緯

新型コロナウイルス感染症の影響等により開催できていなかったが、今年度5年ぶりに世代間交流事業を開催することとなった。

長年パークゴルフ大会という形で、シニア世代が子ども達にパークゴルフを教えながらゲームを進めていく内容で事業を行ってきたが、再開をきっかけとして社会教育委員会議の中で事業を刷新することとし、今回の開催に至る。

## 2 事業内容

参加者で無作為にグループを組み、箸尾地域の指定ポイントを回るウォークラリーを開催（全長約2 km）。

令和5年度、は広陵北小学校区を対象に、箸尾の歴史に関する解説を聞いたり、昔遊びをしたり等グループで力を合わせながら、さまざまなミッションをクリアしていくスタンプラリー形式で行った。

青組・黄組・緑組・赤組・桃組の5グループ（1組7～9人）に分かれルートを順番に回った。

**日時：令和5年12月17日（日）10:00～12:00**

### コースルート

【スタート】  
**はしお元気村 ➡ 教行寺 ➡ 箸尾城跡 ➡ 大福寺 ➡ 櫛玉比女命神社 ➡ 菓子安 ➡ はしお元気村【ゴール】**

### ミッション内容

**はしお元気村** 「グループの旗をつくろう」「缶バッジをつくろう」

**教行寺** 「文化財のおはなしをきこう」「けん玉に挑戦しよう」

**箸尾城跡** 「文化財のおはなしをきこう」

**大福寺  
児童公園**

「文化財のおはなしをきこう」「輪投げに挑戦しよう」

**弁財天地車小屋**

「法被を着て写真を撮ろう」

**櫛玉比女命神社**

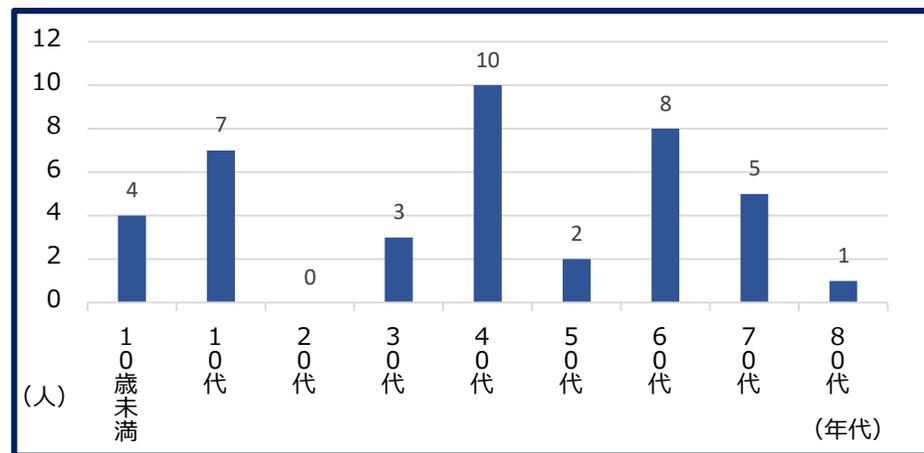
「文化財のおはなしをきこう」「コマ回しに挑戦しよう」

**菓子安**

「みたらし団子を受け取ろう！」

## 3 参加者

**参加人数 40名** （最年少 8歳・最年長 80歳）



20代の参加者が0人であったが、子どもの参加は家族参加が多かったため、30代、40代の参加者が6人、70代と同数となった。

若い現役世代の参加が少ない中、30代の参加者には1人で参加をしておられた方もいた。どの年代も、興味がある内容であれば参加してもらえるものと考えている。

## 4 協力者

文化財解説として広陵町文化財ガイドの会、各ポイント地点での補助として畿央大学生にボランティアで参加いただいた。事業終了後、大学生からは「自分たちも楽しんでボランティアに参加できた。」「来年度も参加したい。」との声があった。ガイドの会からも新しい取り組みとして好評価をいただいた。

- 広陵町文化財ガイドの会 16名
- 畿央大学生 10名



▲箸尾城跡に関する解説を行う文化財ガイド（緑ベスト）



▲スタンプラリーの補助を行う畿央大学生

## 5 当日の様子



▲開会



▲旗作り



▲けん玉に挑戦



▲輪投げに挑戦



▲櫛玉比女命神社解説



▲缶バッジ作り

## 6 課題と解決案

### 課題 1

若い現役世代の参加者が少ない。

### 解決案

高校や大学・公共施設・商業施設へのポスター掲示等事業の周知、SNSの活用、友人同士で参加可能な旨の周知。

### 課題 2

子どもの参加が少ない。

### 解決案

単子子ども会やボーイ・ガールスカウト等団体へ呼びかける。

### 課題 3

前半ポイントで滞留し、後半ポイントの時間が短くなってしまった。

### 解決案

複数コースの同時進行であったり、ウォークラリーとは別の形を再考する。

### 課題 4

同じグループ同士でも、初対面だと会話が広がりづらかった。

### 解決案

全員でチャレンジしたり、スタッフも参加者の中に入った等、より交流が深まる方法を検討する。